

Yusuhara a Home from Home (第2部)

龍馬脱藩マラソン参加記 (Ryoma Dappan Marathon)

今年の龍馬脱藩マラソンは、文字通り雲行きが怪しいものでした。超大型の台風19号が予定日に最接近するのではないかということで、開催できるかどうかは台風次第だったからです。結果的には、梶原町では大きな被害もなく、マラソンをするにはまたとない天候となりました。……ただ、台風19号の進路は高知を逸れたものの、本当に不運なことです。東日本を直撃しました。今現在でも、僕たちには被害の全貌がまだわかっていない状態です。被災された全ての方々に、心からのお悔みとお見舞いを申し上げます。本当に、記録的な大災害だったのではないかと感じています。

お話しをマラソンに戻させていただくと、こうした行事にボランティアとして参加するのは、僕にとっては今回が初めてでした。今までは単なる見物客でしかありませんでしたから、初回としてはもってこいのイベントだったと思います。参加ランナーのみなさんのやる気を最大限に引き出そうと、梶原学園の生徒たちや先生方と一緒に、声援を送りました。僕たちが担当したのはスタート・ゴール地点だったのですが、これはつまり、一日で一番たくさん、参加者の様子を見ることができる場所だったことになります。



スタート地点の様子です。きついレースが今、始まりました！

それにしても、ゴールラインを通り抜けたランナーの姿は本当に感動的でした。一人一人、それぞれの目的を持ってこのイベントに参加していたわけです。全力を尽くして完走しようと考えていた人、自己ベスト更新を目指していた人、とにかくマラソンを楽しもうと考えていた人……それぞれの思いを、ゴールしたみなさんの表情から読みとることができました。

僕にとっては、これだけでも十分にまたとない経験だったのですが、単に拍手や声援を送っただけではなく、生徒たちと一緒に、走り終えたみなさんに完走メダルを手渡したり、飲み物を差し出したり、応急処置が必要であればそのサポートをしたりと、いくつかお手伝いをさせていただきました。僕自身、今回はランナーとして参加することはできませんでしたが、学園の先生には走られた方もいて、ゴール地点で出迎え、完走できたことを一緒になって喜びあえて、すごく感激しました。来年は僕も走っているかもしれません……ひょっとしたら、ですけど。

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)